



環境対策に 関する方針

環境対策に関する方針

既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測されており、地球レベルで環境問題への重要性がますます高まっています。

我が国は、「将来にわたって持続可能な社会の実現」を目指して、『2050年カーボン・ニュートラル実現。そのために2030年に温室効果ガスを2013年比46%削減』を掲げています。「グリーン（環境対策）」は我々全員が取り組むべき喫緊の課題であり、中小企業においても環境対策は成長の重要項目となっていくと見込まれます。

フォーバル・グループにおいても、環境対策に貢献できる経営を行うことが重要と認識し、その推進のために「環境対策に関する方針」を策定しました。

<グループの経営理念からみた位置付け>

- ・ 私たちフォーバル・グループは、みんなを幸せにする企業を目指しています。社員、家族、お客様、株主、取引先、地域社会など、私たちに関係するすべての人たちに「幸せの分配」をしていきたいという思いが、「グループ経営理念」に込められています。また、「グループ経営基本方針」には、「世界・未来に目を向け『社会が求める真の価値』を追求する」とあります。
- ・ 「将来にわたって持続可能な社会の実現」という世界共通の価値を実現することに貢献することは、私たちの「経営理念」や「経営基本方針」からも求められる行動であると考えています。

<環境対策に関する行動指針>

フォーバル・グループ社是に基づき、地球全体の環境改善を目的として、地球温暖化対策に取り組みます。

1. 当社ならびに当社グループの各社において、すべての事業活動を通じて発生する温室効果ガスの削減を心がけ、地球環境の改善に取り組みます。
2. 当社ならびに当社グループのすべてのステークホルダーと共に、地球環境の保全に貢献する商品・サービスの開発や提供を行い、継続的な社会価値の創出を目指します。

<環境対策を通じた SDG's 達成への貢献>

私たちに関係するすべての方々に「幸せを分配する」というフォーバル・グループ「社是」は、持続可能な開発目標（SDGs）の理念と一致しているものと考えています。

SDGs 達成のためには、環境対策も重要な施策です。すべてのステークホルダーと共に環境対策を促進することで、すべての方々への「幸せの分配」につながり、さらには SDGs 達成に貢献するものと考えています。

※SDGs : Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）とは、「誰一人取り残さない」を掲げた、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

<当社の取り組みについて>

1. 働き方改革に伴う省エネ推進
2. 社員に対する環境対策教育の実施
3. 環境対策推進のためのフォーバル・テレコム・グループ全社を横断した施策推進
4. 環境対策の実績数値化
5. 「地球にやさしい電気（温室効果ガス実質ゼロの小売電気サービス）」の提供
6. 自社利用電力のグリーン化